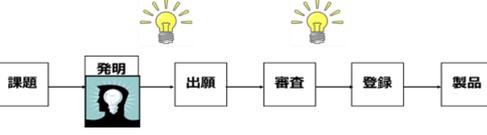
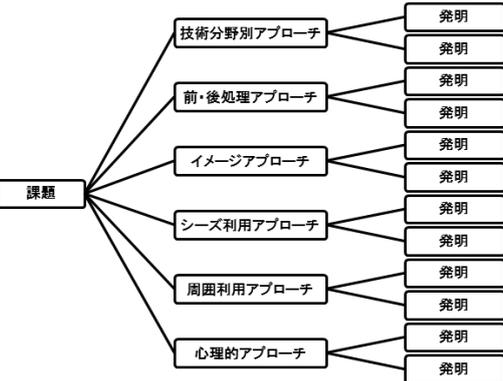


知財ist研修2018シラバス

【知財ist研修2018】	
課程	創造課程
科目	知財への取組みにおける創造の役割と活用 2日間 ～開発者を支える「知財担当者の創造力」と、気づきを知財に変える「開発者の創造力」の事例と演習～
副題	【2日目】知財担当者のための特許になる発明の作り方
日程	2018年9月7日（金）10:00～17:00
講師	川北国際特許事務所 代表 弁理士 川北 喜十郎 氏
受講料（1日間）	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間）会員500,000円、一般600,000円 創造課程2日間おまとめ受講料（2日間）会員34,000円、一般42,000円 ※本科目は、2日間連続受講をお勧めしておりますが、1日毎の受講も受け付けております。
説明	<p>企業における知財への取組みの中で、知財の源泉である「開発者の創造力」はもちろん大切な力ですが、実は、その成否を左右するカギとして、開発者を支える「知財担当者の創造力」が挙げられます。本創造課程では、こうした知財を生み出す「創造」のシーンで求められるモノの「見方・考え方」について、基本部分から展開部分までの体験・演習を交えた解説により、知財担当者・開発者それぞれに求められる「創造力」の理解・習得を図ります。知財担当者、および開発者のために2日間を通じて研修していきます。</p> <p>1日目には、知財創造教育の第一人者であり企業で知財活用の業務に携わる籠原氏により、「創造」の基本的な捉え方、発想体験演習や活用事例などを通じ、その考え方を学びます。2日目には、弁理士でありながら製品開発も行う川北氏により、自身の開発者経験を踏まえた形で、審査基準に基づく「発明の進歩性」のアップの秘訣、発明を生み出す「課題」の重要性、特許にできる発明を創り出す手法などを、事例紹介や知財担当者が遭遇する場面を想定した演習を通じて学びます。創造力を身につけて開発者から頼りにされる知財担当者を目指しましょう！</p>
レポート、演習の有無等	レポート課題はございません。 講義時間中に演習を行います。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、8/31までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。 （ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>1. 知財担当者が発明を創作する理由 (1) 知財担当者は、知財の三位一体戦略の中心 (2) 知財担当者は知財の知識を駆使して発明を創ることができる (3) 知財担当者が発明を創る5つの状況 (4) 知財担当者が発明をつくるメリット</p>  <p>2. 技術要素の組合せとしての発明 (1) 知られた技術要素を選択して発明を作る (演習あり) (2) 組み合わせ方を工夫して効果を奏する (演習あり) (3) 技術要素の組み合わせの7つのパターン (4) 技術分野と組合せの関係</p> <p>3. 特許になる発明をつくる (1) 発明の進歩性の審査基準をマスターする（進歩性が肯定される方向に働く要素と否定される方向に働く要素） (2) 異質の効果 (演習あり)</p>	<p>4. 発明をつくるための6つアプローチ</p>  <p>5. 課題の発見から発明を導くコツ (1) 課題がなければ発明は生まれない (2) 課題の新しさ (演習あり) (3) 課題に気が付くには (演習あり)</p> <p>6. 知財担当者による発明演習 (1) 出願前の知財担当者による発明 (2) 中間処理時の知財担当者による発明 (3) 課題演習 (×2)</p>
<p>参考書籍等</p>	<p>川北喜十郎著「発明のつくり方」発明推進協会発行 2013年 川北喜十郎著「たった一人のビジネスモデル 改訂版」発明推進協会発行 2017年</p>	
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知財担当の知財創出についてのスタンスの再確認ができ、大変有意義でした。 ・発明とは何かの定義の話から、新規性・進歩性の要件との結びつき、そして、出願時の発明の創出の仕方が、関連付けて理解することができました。 ・知財部に異動してから先輩方に言われていたことが、体系的に整理できました。 ・とても実務に近いところを学べてよかった。 	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。 ・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。 ・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。但し本研修は、演習も行いますので、音声のみを聴講されても分かりにくいこともあるかと思えます。実際にご出席いただくことをお勧めしております。CDについては、事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。） 	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本創造課程は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。創造課程2日間を連続受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、11単位が認められる予定です。</p>	